

KPI(アウトカム)とは・・・【金融リテラシーの向上】、【金融意識・行動の変容】について、講師派遣の受講者を対象に「受講前」、「受講直後」、「受講9か月後」の3回にわたって同一のアンケートに回答して貰うことで、金融経済教育を受けたことによる変化を測定。

- ・ 具体的には、継続的なアンケートが実施可能な職域への講師派遣を対象に調査を実施※。
- ・ なお、「受講9か月後」アンケートは、今後実施・集計予定。

アウトカム

金融リテラシーの向上

KPI

「金融知識・判断力」
関連設問の正答率

目標

**正答率を
欧米並み(70%)
に引き上げ**

※現状の正答率は40～50%

◆ 【金融リテラシーの向上】は、「金融リテラシー調査2025年」での正答率が40～50%程度であった「複利」「分散投資」「保険」に関する正誤問題(3問)を出題(次頁参照)。

◆ 2025年度の結果をみると、「複利」の正答率については、目標水準(欧米並みの70%以上)を若干下回るものの、「分散投資」と「保険」については、目標水準に達している。

▼2025年度の達成状況(アウトカム【金融リテラシーの向上】)

	正答率		変化幅 (B)-(A)
	受講前(A)	受講直後(B)	
3問計	72.1%	74.1%	2.1%
Q1:複利	63.4%	69.0%	5.6%
Q2:分散投資	73.1%	81.9%	8.8%
Q3:保険	79.8%	71.6%	▲ 8.2%

※ 無記名で行っているため、3回のアンケート調査の回答者は必ずしも一致しない(以下同じ)。

【参考:「金融知識・判断力」に関する設問】

Q1	100万円を年率2%の利息が複利でつく預金口座に預け入れました。これ以外に口座への入金や出金なかった場合、5年後には口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息に掛る税金は考慮せずにご回答ください。
A1	1. 110万円より多い(正答率:42.6%) 2. ちょうど110万円 3. 110万円より少ない 4. 上記の条件だけでは答えられない 5. わからない
Q2	次の文章が正しいかどうかをご回答ください。 1社の株を買うことは、通常、株式投資信託(何社かの株式に投資する金融商品)を買うよりも安全な投資である。
A2	1. 正しい 2. 間違っている(正答率:51.6%) 3. わからない
Q3	保険の基本的な働きに関する次の記述のうち、適切なものはどれでしょうか。
A3	1. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が大きい場合に有効である 2. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が大きい場合に有効である(正答率:46.9%) 3. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 4. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 5. わからない

記載の正答率は「金融リテラシー調査2025年」の結果

- ◆【金融意識・行動の変容】は、生活設計の策定、外部知見の活用の2つの設問で、意識・行動の変容を測定。
- ◆ 2025年度の結果をみると、改善の余地はあるものの、「受講直後」には“意識”の変容がみられた。こうした意識の変容が、「受講9か月後」に“行動”の変容に結びつくかがポイント。

アウトカム

金融意識・行動の変容

KPI

- ①生活設計等への意識を持つ割合・取り組み率
- ②外部知見の活用率

目標

**①・②の割合を
受講前比
10%以上向上**

▼2025年度の達成状況(アウトカム【金融意識・行動の変容】)

〈設問①:生活設計の策定〉あなたのご家庭では、将来のことを考えて生活設計(将来の生活について「何をしたいか・いくら必要か」等の構想・プランを描くこと)を立てていますか。

(参考)

回 答	アンケート結果		意識・行動 の変容(B)-(A)	カケキン調査※ (2025年)結果
	受講前(A)	受講直後(B)		
生活設計を立てている	29.6%	33.1%	2.0%	35.1%
現在生活設計を立てていないが、 今後は立てるつもりである	64.7%	63.2%		39.5%
現在生活設計を立てていないし、 今後も立てるつもりはない	5.6%	3.6%	▲ 2.0%	25.4%

※「家計の金融行動に関する世論調査2025年(二人以上世帯調査)」の結果

〈設問②:外部知見の活用〉あなたは、過去1年間に、専門家(J-FLECの認定アドバイザーやファイナンシャルプランナー)や金融機関などに、生活設計、家計管理、資産形成など、お金の相談をしたことがありますか。

回 答	アンケート結果		意識・行動 の変容(B)-(A)
	受講前(A)	受講直後(B)	
ある。今後、定期的または必要に応じて相談するつもりである	12.3%	13.9%	5.3%
ないが、今後相談するつもりである	35.2%	38.9%	
ない。今後相談するつもりはない	52.5%	47.2%	▲ 5.3%

【金融リテラシーの向上】

- ◆ 2024年度の「受講9か月後」の結果をみると、「複利」「分散投資」「保険」いずれも目標水準(欧米並みの70%以上)に達している。
- ◆ また、いずれも「受講9か月後」に向けて正答率の向上がみられている。

▽「金融知識・判断力」関連設問の正答率

	正答率			変化幅	
	受講前(A)	受講直後(B)	9か月後(C)	(C)-(A)	(C)-(B)
3問計	72.4%	72.2%	79.5%	7.1%	7.3%
Q1:複利	64.9%	64.1%	70.3%	5.4%	6.2%
Q2:分散投資	74.3%	83.5%	86.4%	12.1%	2.9%
Q3:保険	78.1%	68.9%	81.8%	3.7%	12.9%

【金融意識・行動の変容】

〈設問①:生活設計の策定〉

- ◆ 「受講直後」にみられていた“意識”の変容が、「受講9か月後」には“行動”の変容(生活設計の策定)に結びついている。

▽生活設計等への意識を持つ割合・取組み率

回 答	アンケート結果			意識・行動の変容	
	受講前(A)	受講直後(B)	9か月後(C)	(C)-(A)	(C)-(B)
生活設計を立てている	32.4%	32.5%	45.7%	13.3%	13.2%
現在生活設計を立てていないが、 今後は立てるつもりである	59.7%	63.4%	49.2%	▲10.5%	▲14.2%
現在生活設計を立てていないし、 今後も立てるつもりはない	7.9%	4.2%	5.1%	▲2.8%	0.9%

〈設問②:外部知見の活用〉

- ◆ 「受講直後」にみられていた“意識”の変容が、「受講9か月後」には“行動”の変容(外部知見の活用)に結びついている。

▽外部知見の活用率

回 答	アンケート結果			意識・行動の変容	
	受講前(A)	受講直後(B)	9か月後(C)	(C)-(A)	(C)-(B)
ある。今後、定期的または必要に応じて相談するつもりである	13.9%	11.1%	17.1%	3.1%	5.9%
ないが、今後相談するつもりである	32.8%	32.8%	30.2%	▲2.6%	▲2.6%
ない。今後相談するつもりはない	53.2%	56.1%	52.8%	▲0.5%	▲3.3%